

ナノ型乳酸菌nEF®の腫瘍細胞増殖抑制効果

試験内容

Meth-A誘発線維肉腫モデルマウスを用い、ナノ型乳酸菌nEF投与による肉腫細胞増殖抑制効果について検討した。

試験結果

○Meth-A接種後nEF10mg/Kg B.W./day投与群で生存率が向上した。(図1)

○Meth-A接種下でnEF投与によりNK(ナチュラルキラー細胞)と CTL(細胞傷害性Tリンパ球)を活性化した。(図2、3)

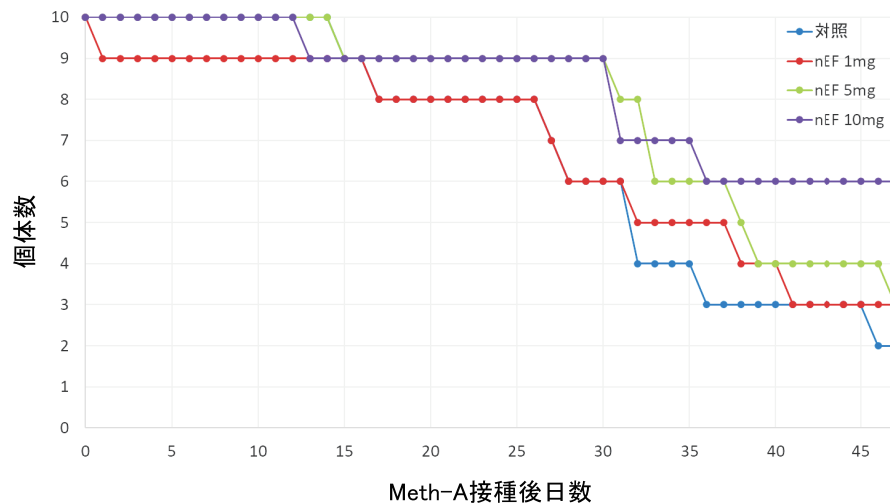


図1 Meth-A接種後の生存個体数

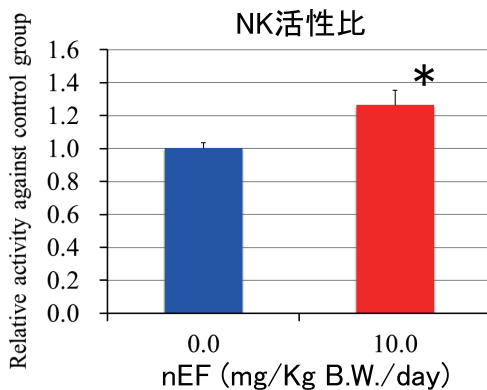


図2 Meth-A接種下における対照に対するnEF投与の脾細胞のNK活性比 (ET細胞比=25:1)
 平均値±標準誤差
 *有意差 $p<0.05$.

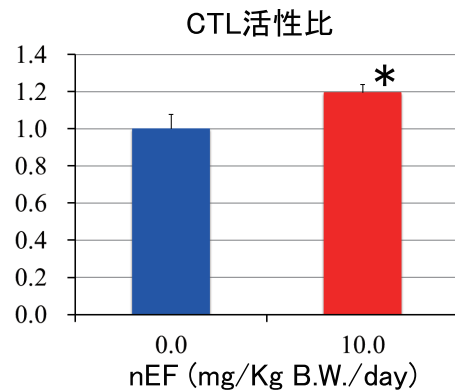


図3 Meth-A接種下における対照に対するnEF投与の脾細胞のCTL活性比 (ET細胞比=25:1)
 平均値±標準誤差
 *有意差 $p<0.05$.

解説

nEF投与により、NK活性が亢進して全身性細胞性免疫を刺激し、Meth-A肉腫接種の状況下でNKとCTLを活性化する。

nEFの投与は全身性のNKとCTLの活性化を介して肉腫(腫瘍)の増殖を抑制することが示唆された。